

## 特徴ごとの主要な植栽候補種について

特徴ごとに想定される樹種の一覧は以下のとおりです。

<凡 例>

- 列：玉川上水など地域に自生する種
- 列：自生しないが地域で昔から利用されてきた種
- ▲列：その他、植栽材料として定評のある種

### 花の美しい種

- コブシ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、ウツギ など
- ソメイヨシノ、ウメ、クちなシ、シャガ
- ▲ハナミズキ、キンシバイ、アジサイ、トサミズキ



ウツギ ウメ アジサイ クちなシ

### 実の美しい種

- ガマズミ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤブコウジ など
- クロガネモチ、カキノキ、ナンテン
- ▲ボケ、モッコク



ガマズミ マユミ ヤブコウジ カガネモチ

### 紅葉・黄葉の美しい種

- イロハモミジ、コナラ、シモツケ、ニシキギ、マユミ など
- カキノキ、ナンテン
- ▲イチョウ、カナメモチ、ハナソノツクハネウツギ



イロハモミジ コナラ カキノキ イチョウ

### 大気浄化能力に優れた種

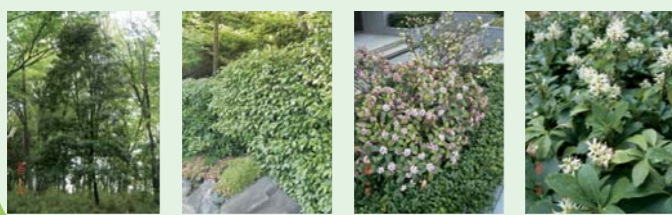
- シラカシ、スダジイ、ケヤキ、クヌギ、コナラ など
- クロガネモチ、カクレミノ、チャノキ
- ▲イチョウ、モッコク、ムクゲ、ヒュウガミズキ



シラカシ クヌギ カクレミノ ムクゲ

### 暗い場所でも育つ種（耐陰性）

- アラカシ、シロダモ、ネズミモチ、ヤツテ など
- ユズリハ、サカキ、センリョウ、ハラン
- ▲モッコク、アジサイ、ジンチョウゲ、フッキソウ



シロダモ サカキ ジンチョウゲ フッキソウ

### 常緑性の種（落葉が比較的少ない）

- シラカシ、ヤブニッケイ、ヒサカキ、ヤマツツジ など
- アカマツ、カヤ、サワラ、ヒノキ、アセビ
- ▲キンモクセイ、カンツバキ、ビョウヤナギ



シラカシ ヒサカキ キンモクセイ カンツバキ

## 今後の予定

### 新たな植樹帯に植える街路樹の植栽計画について

植栽計画については、広く沿道の皆様のご意見を参考とし、地域の環境等に配慮し、最終的に都で決定します。

### 既存樹木の取扱いなどについて

今後、既存街路樹の取扱いについては、現地でのマーキング等により周知してまいります。また、環八中の橋交差点及び富士見ヶ丘グランド付近の街路樹については、本線や側道の工事に影響するため、先行して今年度より移植、伐採を予定しておりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

問合せ先・郵送先

東京都 第三建設事務所 工事第一課 環境対策担当

TEL 03-3387-5347

【発行】

東京都第三建設事務所 工事第一課  
東京都中野区中野4-8-1 中野区総合庁舎2階

第三建設事務所のHP

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/sanken/index.html>

平成27年度  
登録3号

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

# 東京都市計画道路幹線街路放射第5号線

第7号

## 三建・放5かわら版

VOL.7 2015.7  
【発行】  
東京都第三建設事務所  
〒164-0001  
中野区中野4-8-1-2F  
Tel.03-3387-5347

放射第5号線（高井戸西区間）改良事業につきましては、平成27年2月27日、3月1日に開催した工事説明会や放5かわら版第5、6号でお知らせしましたとおり、今年度より、遮音壁の改良などの「環境対策」関連工事や中央自動車道橋脚移設工事などに入らせて頂きます。引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

本号では、今後の沿道空間の整備に向け、新たな植樹帯に植える街路樹の植栽計画（樹種）に関して皆様のご意見を頂きたく、アンケートを実施させていただきます。お手数ですが、1～4頁に示す本紙の内容をご一読頂き、別紙のご意見用紙にご記入のうえ、返信をお願いいたします。

アンケートの結果などを参考に、都で植栽計画を決定し、別途ご報告いたします。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

- ・回答期限：平成27年8月7日（金）まで
- ・回答方法：別紙『放5の沿道空間の植栽計画に関するご意見用紙』による
- ・提出方法：同封の封筒での郵送（差出有効期間外の投函は差出人様の料金負担となります）

## 沿道空間の現況と将来イメージ

現在の沿道空間の状況と将来のイメージ等は以下のとおりです。

（詳細はかわら版第4号を参照）

本号では、沿道空間の植樹帯の樹種に対するご意見を頂きたいと思っております。



写真 現在の状況



図1 将来の沿道空間のイメージ

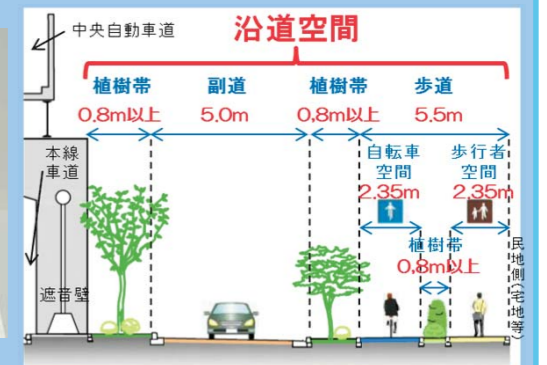


図2 基本的な断面構成

## 街路樹の役割

都市の風格や美観を形成する景観形成機能

夏の日差しを抑え騒音や排気ガスの影響を和らげ、沿道の環境を守る環境保全機能

道路交通の安全性や快適性を向上させる交通安全機能

動物を呼び寄せ都市の自然を創出する自然保護機能

災害時の火災などから住民を守る防災機能

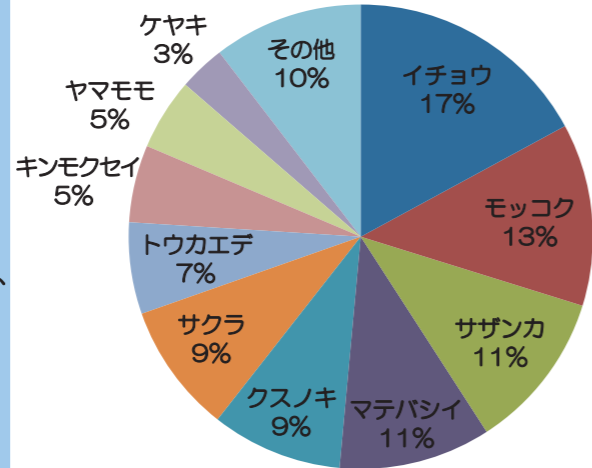
## 既存の樹木について

### <事業区域内の樹木の状況>

本事業区域内には、約600本の樹木（高木）が植栽され、樹種は多種多様で約30種類を数えます。

これらの樹木には、樹齢40年程度の大木も数多くみられます。

樹種では、右のグラフのとおり、イチョウが最も多く植えられており、モッコク、サザンカ、マテバシイ、クスノキ、サクラと続きます。



### <既存樹木の課題>

移植や存置が可能な樹木は極力活用する方針ですが、街路樹診断によると、樹木の存置や移植に関して以下のような問題がある樹木が数多くあることが判明しました。

- 密植状態で、移植のための十分な根鉢が確保できない（右写真1）
- 植樹後数十年経過し、樹体が大きくなり過ぎている（右写真2）
- 密植による被圧で樹形が乱れ、移植に耐える活力を持たない（右写真3）
- 太枝が樹形を形成しており、運搬用に絞ることが困難である

こうした樹木は生育や管理の面からも更新せざるを得ません。また、密植状態で根が絡み合っていたり、見通しが悪く防犯上などに問題がある箇所は、間引くなど適正な間隔の配植にします。



写真1

写真2

写真3

写真はイメージです

### <隣接緑地の樹木の状況>

本事業区間の周辺は、玉川上水やグラウンド、公園などの緑地が隣接しています。

これらの緑地に生育する樹木（高木）の概況は、右図のとおりです。

#### ①富士見ヶ丘グラウンド

コナラ、クヌギ、イヌシデ、サクラなど

#### ②昭栄公園

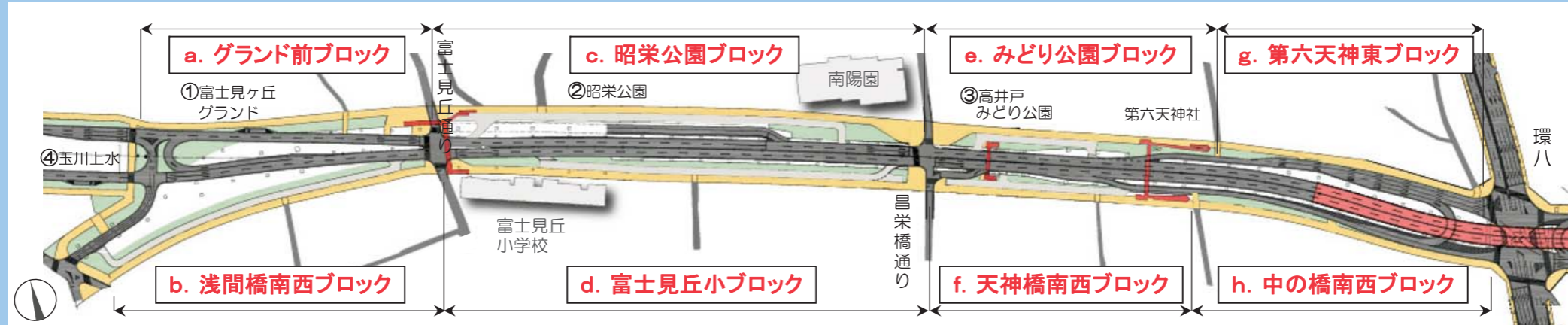
ケヤキ、スダジイ、イチョウ、アキニシなど

#### ③高井戸みどり公園

ケヤキ、コナラ、イヌシデ、サクラなど

#### ④玉川上水

ケヤキ、エノキ、ムクノキ、コナラ、クヌギ、イヌシデ、サクラ、コブシ、エゴノキ、シラカシなど



### 【凡例】

- 車道（上高井戸陸橋）
- 車道（本線、側道、オフランプ）
- 副道
- 緑地
- 自転車空間、歩道
- 横断歩道橋
- 高速道路橋脚

※現在の図は計画段階の案であり、確定したものではありません。

## 植栽計画の基本方針と植樹帯ごとの考え方(案)

### <植栽計画の基本方針(案)>

既存樹木は極力活用（かわら版第6号参照）する他、新たな植樹帯に植える街路樹の植栽計画については以下の方針とする予定です。

☆ 高木、中低木及び下草・地被類等の組合せにより、緑量の豊かな緑地を創出します。

☆ 以下を考慮し、環境条件や利用条件を踏まえ、維持管理の面も合わせて植栽種を選定します。

- 隣接する緑地との関係性や一体的な景観形成
- 沿道の住民等のニーズ、周辺の良い住環境や歩行環境等の保全
- かつて玉川上水であった由縁を踏まえ、接続する玉川上水の緑との調和

### <植樹帯ごとの考え方(案)>

位置	考え方	新たな植栽	植栽種		
			玉川上水など地域に自生する種●	自生しないが、地域で昔から利用されてきた種■	その他、植栽材料として定評のある種▲
植樹帯A	本線の自動車交通と沿道環境を分離するボリュームある緑を確保するとともに、かつてつながっていた玉川上水の緑との調和等を考慮する。	高木が中心	○		
植樹帯B	自動車と歩行者等の分離を図るとともに、隣接する緑地との調和、住環境や歩行環境等の快適性等を考慮する。	中木が中心	○	○	○
植樹帯C	防犯上や交通安全上必要な見通しを確保し、自転車と歩行者を分離するとともに、住環境や歩行環境等の快適性等を考慮する。	低木が中心	○	○	○

植栽種●、■、▲の具体的な樹種は4頁に記載しております。

